

# 【会議録】

会議名	第1回港区立港南子ども中高生プラザ指定管理者候補者選考委員会
開催日時	令和4年4月4日（月）17時00分から18時00分まで
開催場所	Teamsによるオンライン会議
出席者	出席者 5名 田中委員長、秋山委員、安部委員、長谷川委員、白井委員 欠席者 なし
事務局	芝浦港南地区総合支所管理課長 増田 芝浦港南地区総合支所管理課施設運営担当係長 石井、管理係 青木、大澤
会議次第	1 開会 2 委員委嘱 3 委員紹介 4 委員長選出について 5 議題審議 議題1 公募要項（案）について 議題2 第1次及び第2次審査基準（案）について 6 今後のスケジュール 7 閉会
配付資料	【配付資料】 資料1 港区立港南子ども中高生プラザ指定管理者候補者選考委員会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 公募要項（案） 資料4 公募要項【様式集】（案） 資料5 業務基準書一式（案） 資料6 第一次審査選考基準・採点表（案） 資料7 第二次審査選考基準・採点表（案） 資料8 今後のスケジュール 参考資料 施設パンフレット

会議の結果及び主要な発言

<p>(発言者)</p> <p>事務局</p>	<p>1 開会 (芝浦港南地区総合支所長の挨拶)</p> <p>2 委員委嘱</p>
<p>事務局 B委員</p>	<p>3 委員の紹介 (各委員から自己紹介)</p> <p>4 委員長選出について 資料1の第5条2項の規定により、委員長は委員の互選により選出します。 田中委員を委員長に推薦します。 (委員一同、異議なし)</p>
<p>事務局</p>	<p>資料1の第5条3項の規定により、副委員長は芝浦港南地区総合支所長にお願いします。</p>
<p>委員長 C委員</p>	<p>5 議題審議 議題1 公募要項(案)について 議題2 第1次及び第2次審査基準(案)について 【議題1と議題2は関連する事項のため一括審議】 (事務局から配布資料について説明)</p> <p>質問等ありますか。</p> <p>資料3の7ページ「管理運営の基準」について、こちらに「児童館ガイドライン」と「放課後児童クラブの運営指針」が入っていないのは何か理由がありますか。これも厚生労働省が出している児童館と放課後児童クラブの基礎となる法令のため含んだ方が妥当だと思います。</p>
<p>事務局 E委員</p>	<p>わかりました。</p> <p>資料3の21ページ(7)の「カ」は、提出書類A4縦1枚の作成で片面か両面かが明確ではないこと、もう一つは「詳細な説明がある場合は、任意で資料を添付することができます」という記述がありますが、これでは提案書類が無制限になるため、そうすると情報量が多いところの評価が高くなるので公平公正な審査ができない可能性があります。ここは各様式のボリュームを明確に制限した上で同じ条件の提案内容で勝負しなければ公正な審査にならない気がするので明確にした方がいいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>提出書類A4判は、資料3の21ページに「A4判片面タテ1枚で作成してください」というところで、両面ではなく片面と記載してあります。任意の資料については、公募要項に資料添付可と記載してありますが、事業者による捉え方が片面または両面とまちまちになり差が出てくる可能性もあるため、事務局の提案になりますが文言の削除はいかがでしょうか。</p>

委員長 E委員	各候補者の情報量の平等化は評価において大事なので修正をお願いします。 そうすると任意の資料の添付についての記載は削ることで情報量を全て平等にするということだと思いますが、そうすると項目によってはA4判片面だけでは概要のみで具体的な記述は書きようがなくなると思います。従って両面可が良いと思います。
事務局	A4判片面の記載がありますが、こちらを修正して両面で尚且つ添付資料なしはいかがでしょうか。
委員長	資料4【様式33】「地域の拠点としての計画性」の①から④は、指定の文字フォントが12ポイントなので入り切らないと思います。A4判両面が良いと思います。
C委員	今の委員長の指摘した点と関連しますが、資料6と資料7の採点表の加算部分で、この港南子ども中高生プラザは地域との関係性は特段問題ないですか。それとも地域とのトラブルを抱えていることはありますか。要は指定管理者が何か留意しなければいけないことがあるのかないのかによって、加算の点差が変わるのかと思いました。
事務局	加点の採点項目が港南子供中高生プラザに特化した点ですが、まず採点表の4番「(8)多言語・多文化への理解と外国人家庭の利用者の受け入れや対応についての考え方と取り組み」については、最近外国人利用者が増えて文化の違いや考え方の違いからトラブルに発展することが散見されます。それについて提案をいただきたいと思いましたが、ただ外国人利用者も全体の利用者からすると数%のため加算としては1点としてトラブル全体の中の外国人に関する項目という形で港南子ども中高生プラザに特化した項目で挙げています。
C委員	非常に大事な点だと思いますが、今後の数年間を見据えて加算を考えた方がいいかは今協議した方がいいと感じました。
委員長	他の委員の方々意見はありますか。 (委員一同、異議なし)
委員長	C委員から案はありますか。
C委員	今のパターンですが、この地域はその他のトラブルや地域との関係性の難しさは特段抱えていませんか。
事務局	区民参画組織が深く携わり立ち上がった施設です。従ってその地域の自治会の会長といった方とはイベントをするときに事前に相談を行いコミュニケーションを大事にして円滑に運営をしています。
委員長	トラブルはありましたか。
事務局	報告・連絡・相談の事業運営を行っていれば、互いに協力し合い友好的に運営をしています。
C委員	そうしましたら、点数はこのままにして業者のプレゼンの際に委員から質問することは可能ですか。
委員長	はい。C委員が言ったように将来的ということを考えてとき、その話はプレゼンの際にいただきたいと思います。私からは3点あります。1点目は様式の部分と採点表の記述は同じが良いということ。2点目は施設長候補者と施設長予定者の名称の統一について。3点目は資料4【様式12】「施設長としての抱負」の項目は必要ないという点です。
事務局	1番の採点表等の記述の統一と2番の施設長候補者予定者の統一は統一します。

B委員 E委員 委員長 E委員	<p>3番の抱負は省略も可能ですが他の委員の意見はいかがですか。</p> <p>二次審査で施設長候補者については聞けるので必要ないと思います。</p> <p>実績は記載してもらい抱負の部分は必要ないということですよ。</p> <p>そうです。</p> <p>そうならば二次審査で実際に書いたことをそのままプレゼンで読まれても困るので、実際に本人に聞いてみた方が生の言葉で出てくると思うため私は異論ないです。</p>
D委員	<p>実際に確認できるので必要ないと思います。第一次審査の審査項目評価のポイントの修正をして整合が取れると思いますが、委員長から指摘があった【様式29】は様式と評価のポイントが若干ずれているので、そこは直す必要があると思います。評価のポイントとしては、行事については効率性を評価する形の記載になっているので、むしろ行事は多彩な行事で四季に応じた行事や様々なバリエーションがある方が評価できる場所があるため、そのような視点で修正すると思います。</p>
委員長	<p>資料7の項番3「施設長候補者の意欲・適正について」が10点ですが、結構他の部分が施設長候補者によって、その施設がうまくいくかどうかが大変なところで事業者も理解して選んできています。そうすると今まではもう少し高い特記がありました。他が20点台でこれが10点で他と合わせるくらいに、高いところで20点位あってもいいと思います。他の項目の関わりもあるため委員の意見をいただきたいです。</p>
E委員	<p>施設長候補者の人物は施設運営に大きく影響するため大事なポイントです。その中で確かに二次審査の100点満点の中で1割しか配点してない指摘については調整できるとすれば、項番2「地域（町会・自治会、学校、企業立地等）の特性に根付いた提案であるか。」を15点にして施設長候補者を15点にすることはできると思います。</p>
C委員	<p>E委員の意見に賛成で、児童館ガイドラインでも館長の役割が明記されているので施設長に関してはもう少し得点が高い方がいいと思います。</p>
事務局 委員長	<p>今いただいた意見の内容で第二次審査の採点表を改めて修正します。</p> <p>意見等ありますか。</p> <p>（委員一同、異議なし）</p>
委員長	<p>公募要項第一次・第二次審査表は決定でよろしいですか。</p> <p>（委員一同、異議なし）</p>
委員長	<p>本日の審議での皆様の意見をもとに公募要項第一次・第二次審査表を修正します。最終的な文言の調整につきましては委員長・副委員長に一任ということで進めさせていただきます。</p>
委員長	<p>6 今後のスケジュール （事務局から資料8について説明）</p> <p>7 閉会 （閉会の挨拶）</p>

# 【会議録】

会議名	第2回港区立港南子ども中高生プラザ指定管理者候補者選考委員会
開催日時	令和4年6月23日（木）18時00分から19時30分まで
開催場所	Teamsによるオンライン会議
出席者	出席者 5名 田中委員長、秋山委員、安部委員、長谷川委員、白井委員 欠席者 なし
事務局	芝浦港南地区総合支所管理課長 増田 芝浦港南地区総合支所管理課施設運営担当係長 石井、管理係 青木
会議次第	1 開会 2 財務状況等分析結果について 3 議題 議題1 第一次審査通過事業者の決定について 議題2 第二次審査について 審査（プレゼンテーション・ヒアリング）の方法について 4 今後のスケジュール 5 閉会
配付資料	【配付資料】 資料1 財務状況等 分析報告書 資料2 資金計画 分析報告書 資料3 第一次審査(書類審査) 採点集計表 資料4 第二次審査表 資料5 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)の方法について 資料6 第1回港区立港南子ども中高生プラザ指定管理者候補者選考委員会 会議録

会議の結果及び主要な発言

(発言者)	
事務局	1 開会
公認会計士	2 財務状況等分析結果について ・公認会計士から財務状況及び資金計画分析結果について以下を報告 【財務状況分析（可・不可評価）】 事業者A-1 可 事業者A-2 可 事業者B 可  【資金計画分析（A～E評価）】 事業者A A 事業者B A
E委員	資金計画について、その他経費が、事業者Aは利益部分が抑え目だが気になるほどの金額ではないということか。
公認会計士	全体的に気になるほどではないです。利益部分の金額は低いですが、指定管理料全体額は事業者Aの方が高いです。
C委員	資料2 資金計画分析報告書の5ページ目 事業者Aの常勤人数は19名となっています。しかし、事業者からの提出書類様式10を見ると36名となっているがどちらが正しいのでしょうか。
公認会計士	様式10-11の一部を足し忘れていました。正しくは19名+16名で35名。それに設備責任者1名を足した36名です。報告書を修正します。
事務局	1名が設備責任者を表しているかは、追加で事業者を確認いたします。 【※後日事業者を確認したところ、1名が設備責任者を表しており、常勤職員数は36名となっております。】
	3 議題 議題1 第一次審査通過事業者の決定について ・事務局から第一次審査集計結果について説明 (集計結果 事業者A 759点 事業者B 755点)
委員長	それでは、第一次審査について審議します。各委員から講評をお願いします。
C委員	事業者Aの得点を高くしました。大型児童センターの運営実績があること、子ども

	<p>の権利についての記載、乳児から中高生までの発達に応じた様々なサポート体制を評価しています。</p> <p>一方で、第一次審査採点表 4 (5) 年間を通じた活動の提案の記載がなかったり、(6) 提案事業の歌声ひろばがコロナ禍で可能なのかどうかという疑問があり、点数を低くしています。</p> <p>事業者Bは、大型児童センターの運営実績が少なく、この大型施設を運営できるのかという不安があります。</p> <p>一方で、様々な提案事業があるところは評価できます。</p>
B委員	<p>事業者Bの得点を高くしました。しかし、2つの事業者にそこまで大きな差は感じませんでした。事業者Aと事業者Bにそれぞれ苦手な部分があり、2つ合わせるとすごくバランスがいいなと感じました。</p> <p>事業者Aは、中高生対応の記述が充実していて、今までの実績と独自性のある提案が興味深いです。</p> <p>ただ、もう少し利用者を幅広くとらえた記述というのが欲しかったのと、対応の具体的なイメージが部分的に不足していると感じました。</p> <p>事業者Bは、利用対象の捉えが幅広くとらえられていました。学童クラブ等の実績が活きています。</p> <p>一方、中高生に関する部分が、事業者Aに比べて若干不足しているように感じました。</p> <p>それから、3 (6) の人権に関する部分で、人権への配慮の視点が少し足りていない、5 (1) で地域性に欠ける部分があるように感じます。</p>
D委員	<p>事業者Aの得点を高くしました。</p> <p>大型児童センターの運営実績と、実績を意識した運営が提案されている点、3 (1) の基本方針や5の地域の拠点としての計画性を評価しました。</p> <p>地域の特色をとらえた提案や、地域で活動している団体との協働を意識した提案がされています。</p> <p>また、中高生も意識した提案が出されていると感じます。</p> <p>事業者Bも優秀な提案がなされていました。</p> <p>特に評価をした点は、不審者対応や衛生管理の具体的な項目がしっかりと提案がされている点です。</p> <p>ただ、全般的に保護者へのサービスが強調されている点が非常に気になりました。</p>
E委員	<p>事業者Bの得点を高くしました。ただ、両者ともレベルの高い提案がされていました。</p> <p>事業者Bは全体的に安定した提案がされています。一方、事業者Aは項目ごとに波があって、4 事業運営 の中でも大規模施設を運営している利点を活かしているところ、年代がきめ細やかで盛り込んで書いてあるところは評価できるが、ほかの書きぶりが寂しいところがありました。</p> <p>ほかの委員のおっしゃっていたように、事業者Bは、子どもの権利の記述が弱いことは気になりました。</p>

委員長	<p>事業者Bの得点を高くしました。第二次審査のプレゼンテーションを聞いて、どちらの事業者の得点を高くするか決めたいと思いました。</p> <p>事業者Aは、ほかの委員もおっしゃるように項目ごとに波があります。様式が急に片面になったり、力を入れて両面になったりしています。</p> <p>提案書類の書き方が、事業者Aは、箇条書きが目立ち、全体的なイメージがしづらいです。事業者Bは、トータルした考え方を書いて、そこから細かい部分を書いているので分かりやすいです。</p> <p>提出された書類だけで評価するのは難しいので、第二次審査のプレゼンテーションで聞いていきたいと思います。</p>
委員長	各委員の講評を踏まえ、何かご意見や点数の修正のある方はご発言ください。
事務局	事業者Bの第一次審査採点表 3(3)管理運営体制(職員体制・勤務体系の考え方)は「2劣っている」と「4優れている」の両方の意見があった項目です。評価した際のお考えをお聞かせいただければと思います。
C委員	事業者B「2劣っている」をつけました。理由は非常勤職員が多く不安を感じたからです。
委員長	ヒアリングで実態を聞きたいと思います。
C委員	両事業者とも提出書類の記載事項に不足を感じます。特に4事業運営は重要な項目なので、追加提出資料を求めるのはどうでしょうか。
E委員	追加提出資料を求めると、事前に準備されてしまい、本質が見えなくなってしまう。ヒアリングの場で質問するのはどうでしょうか。
全委員	(異議なし)
委員長	事前に追加提出資料は求めず、ヒアリングで質問することとします。
委員長	それでは、これまでの意見を踏まえて、点数を修正されたい委員はいますか。
E委員	事業者Bの大型児童センターの運営実績が少ないため、事業者Bの点数を3点下げます。
事務局	<p>点数の修正がありました。</p> <p>(集計結果 事業者A 759点 事業者B 752点)</p>
委員長	応募事業者について第一次審査通過ということによろしいでしょうか。

全委員	<p>(異議なし)</p> <p>議題2 第二次審査について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より第二次審査の方法について説明</li> </ul> <p>それでは、第二次審査について審議します。</p> <p>まず時間配分について、プレゼンテーションとヒアリングの時間配分はいかがでしょうか。</p>
E委員	<p>2事業者の第一次審査の点数が拮抗しているので、プレゼンテーションとヒアリングが非常に重要です。ヒアリングは5名が質問するので25分は必要だと思います。</p>
委員長	<p>では、プレゼンテーション10分、ヒアリング25分でいかがでしょうか。</p>
全委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>プレゼンテーション時の条件、方法についてご意見をお願いします。</p> <p>プレゼンテーションを行うのは施設長候補者、そのほかに本部職員が出席すると思います。</p>
E委員	<p>大きな施設ですので、副施設長候補者などサブの職員も入れたいです。</p>
委員長	<p>では、施設長・本部職員2名以内・現場職員（副施設長候補者など）2名以内計5名以内でいかがでしょうか。</p>
全委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>プレゼンテーションの方法は、プロジェクターを使用した方法や紙媒体を使用した方法があります。プロジェクターは故障のリスクがありますので、紙媒体が良いと思います。プレゼンテーション資料はA3・片面・1枚はいかがでしょうか。</p> <p>また、追加資料の提出はなしということでしょうか。</p>
全委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>第二次審査採点表について、5段階評価の「優れている」「劣っている」といった表記を第一次審査採点表と揃えた方が良くと思います。</p>
事務局	<p>修正します。</p>
C委員	<p>第二次審査採点表について、1施設運営の考え方について の「個人情報の取扱い、利用者の安全確保及び人権への配慮、危機管理の体制」の加算を×2から×3</p>

全委員	<p>に高くするのはいかがでしょうか。先ほどの意見でも出たように、子どもの権利は重要だと思います。同じ評価項目の「執行体制・職員育成に対する事業者の姿勢・考え方」の加算を×4から×3に下げて、点数を合わせるのはいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局	修正します。
事務局	4 今後のスケジュール
委員長	5 閉会

# 【会議録】

会 議 名	第3回港区立港南子ども中高生プラザ指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年7月1日（金）17時00分から19時30分まで
開 催 場 所	港区芝浦港南地区総合支所101会議室
出 席 者	出席者 5名 田中委員長、秋山委員、安部委員、長谷川委員、白井委員 欠席者 なし
事 務 局	芝浦港南地区総合支所管理課長 増田 芝浦港南地区総合支所管理課施設運営担当係長 石井、管理係 青木
会 議 次 第	1 開会 2 プレゼンテーション及びヒアリング 3 第二次審査採点及び指定管理者候補者の選定について 4 閉会
配 付 資 料	【配付資料】 資料1 第二次審査選考基準・採点表 資料2 第2回港区立港南子ども中高生プラザ指定管理者候補者選考委員会 議事録  プレゼンテーション用資料（2事業者）  参考資料 第一次審査集計結果 評価メモ

会議の結果及び主要な発言

(発言者)	
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 プレゼンテーション及びヒアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者によるプレゼンテーション</li> <li>・委員からのヒアリング</li> </ul>
事業者A	(プレゼンテーション)
C委員	子どもの意見表明参加について、どのように考えていますか。
事業者A	法人としても、子どもの意見表明参加は重要視しています。取り組みとしては、子ども会議を開催したり、行事でお店屋さんごっこをやりました。お金を自分で考えて使ったり、店員役をやったり、異年齢交流にもなり、自分で考えて行動するという体験をさせています。
C委員	副施設長の役割について、どのように考えていますか。
事業者A	施設長を支えることはもちろん、一緒に働く仲間たちに働きやすい環境を作っていきたいと思います。また、地域の方、保護者の方へのつながりの架け橋となれるよう積極的に地域に飛び込みたいです。
B委員	性的マイノリティへの対応や、今までの経験について教えてください。
事業者A	性的マイノリティをはっきり打ち出している子と関わったことはあまりありませんが、障害のある方に対しても言えますが、子どもは時にはっきりと口にしたり、からかったりすることがあります。子どもたちにどのように理解してもらうか、研修やミーティングを重ねていきたいと思っています。
B委員	計画書類に記載のある子ども食堂について教えてください。
事業者A	類似施設での取り組みとして紹介しています。中高生クッキングとして、職員と一緒に調理をして、一緒に食卓を囲むという取り組みです。近年は共働き家庭が増えており、孤食の解決につながればと思っています。
D委員	大規模施設なので、職員数が多いですが、施設長候補者としてどのようにまとめていきますか。

事業者A	5つの学童クラブがありますが、それぞれがバラバラにならず、同じ育成方針でやっていくことが大切です。各学童クラブを統括するリーダー→主任→副施設長→施設長と効率よく上に持ち上がっていき、チェックしてまとめていきます。本部としてのバックアップは、異動や研修を通じて様々な見方を提案していきたいと思います。
D委員	港南地域とどのように関わっていきたいですか。
事業者A	港南地域は、高層マンションが多く立ち並び、これからも子どもが増えることが予想される地域です。そこで、昔から住んでいる住人と、新しく引っ越してきた住人の両者の橋渡しができる施設にしたいと思います。
E委員	子ども同士でのトラブルについて、例えば、外国人の子どもも多いと思いますが、どのように対応していきますか。
事業者A	外国の方同士のトラブルについては、文化の違いからのトラブルが多いです。その国で育ったわけではありませんので、完全に理解することは難しいですが、いずれの方も、日本に来てよかった、日本は安心安全な国と認めてもらっていますから、そこから着地点を見つけていきたいと思います。
E委員	コロナ禍での子どもたちへの制限についてどのように考えていますか。
事業者A	コロナ禍であっても少しずつできること、緩和されていることを増やしていきたいと思います。制限ばかりすると、保守的になっていってしまうので、感染状況を見つつ、できることを増やしていきたいと思います。
委員長	施設長候補者としての意気込み・自分の資質や活かせる経験について教えてください。
事業者A	地域や保護者との関係性を大切にします。大型施設ですので、子ども一人ひとりと関わるのが難しい場面もありますが、施設長自身もできるだけ全体を回って、一緒に遊んで関係性を作っていきたいと思います。
委員長	副施設長候補者として、施設長をどのように支えていますか。
事業者A	地域のお祭りやイベントに職員が入っていくような仕掛けを作り、積極的に行事やイベントに参加して、地域との交流の輪を広げたり、港南地域の歴史を知ることが大切だと思いますので、地域の方に来ていただいて直接お話を聞く機会を積極的に作っていきたいと思います。
委員長	期待に応えられていない職員について、どのようにサポートしていきますか。
事業者A	例えば、もう少し規模の小さい施設へ研修として行って経験を積んでもらったり、

	面談をして、日々の取り組みについて話し合ったりしながらサポートします。
委員長	時間になりましたので、ヒアリングを終了します。ありがとうございました。
事業者B	(プレゼンテーション)
C委員	子どもの意見表明参加について、どのように考えていますか。
事業者B	子ども会議というものを定期的で開催しています。学童クラブに何を求めているか、どのようにしていきたいかを話し合いをして、反映させていっています。また、会議の結果を館内で掲示したり、ホームページにアップしています。
C委員	大型児童センターにおける中高生支援について教えてください。
事業者B	学童クラブを卒業した子どもたちが、中学生・高校生になったとき、ぜひここでボランティアをしたり、働きたいと言ってくれる子がいます。乳幼児から中高生まで一貫した育成を行い、中高生になっても戻ってこられるような場所にしていきたいと思います。
C委員	ジェンダーについての考えを教えてください。
事業者B	会社の創業者が身体に障害を抱えており、そこから事業が展開していることから、すべての人が尊重させる社会を目指すことは法人の理念です。多様性を理解して、すべての人に様々な機会を提供して、一緒に学ぶ機会を増やしたいと思います。また、女性活躍推進というところは、会社を挙げて取り組んでいるところです。
B委員	中高生に対しての取り組みについて教えてください。
事業者B	中高生に対しては「気軽さ」を大切にしたいと思います。コンビニで集まっている中高生がいますが、そのくらい気軽に集まれる場所にこの中高生プラザがなれば良いなと思います。
B委員	計画書類に記載のある異文化体験プログラムについて教えてください。
事業者B	類似施設で実施をしています。年2～3回を計画しています。
D委員	施設長候補者として、職員の育成で心がけていることを教えてください。
事業者B	大切にしていることは「共有」です。子どもに対しての情報共有がまず第一ですし、仕事としてではなく、まずは子どもを見るよう、関わるよう職員に伝えていきます。また、職員が主体的に動けるように考えて育成をします。

E委員	子ども同士でのトラブルについて、どのように対応していきますか。
事業者B	双方の意見をしっかりと聞き、時間をかけて何を伝えたかったのか、何が起きてしまったのかを聞き出します。外国の方の場合は、言葉の壁があるので、やさしい日本語を使って丁寧に説明します。必要に応じて、学校との連携を行います。
E委員	子ども同士のトラブルがエスカレートして、保護者同士のトラブルになったとき、どのように対応していきますか。
事業者B	双方の意見をしっかりと聞きます。状況によっては、熱が上がっているときに双方をお会いさせてもさらなるトラブルになるので、仲介役となって解決の場を提供します。
E委員	コロナ禍での子どもたちへの制限についてどのように考えていますか。
事業者B	特にマスク着用のお願いは頭を悩ませています。コロナ禍での制限について、理由を丁寧に説明したり、こう言う理由でマスクをつけて欲しいんだけどどうと投げかけて自主的にマスクの着用ができるようにと考えています。
委員長	施設長候補者としての意気込み・自分の資質や活かせる経験について教えてください。
事業者B	ここまで大規模な児童施設は、私自身経験がないのですが、4月からこの中高生プラザの施設長となったら、どの様に運営を進めていくかイメージしながら日々仕事をしています。私がこの仕事に就いた理由を考えると、子どもが好きだからが一番出てきます。将来を担う子どもたちの育っていく環境を、豊かなものにしたいと思います。
委員長	副施設長候補者として、施設長をどのように支えていきますか。
事業者B	施設長候補者の子どもに対する気持ちは誰にも負けないというその気持ちを、職員全員で共有して、一丸となれる施設を目指します。人数の多い大規模な施設でありますので、全員が同じ気持ちで取り組めるよう施設長をサポートします。
事業者B	本部としては、施設長候補者等、4月からこちらの施設に勤務する職員を事前研修として大型の児童施設に入ってもらうことを検討しています。
委員長	職員の研修や面談について教えてください。
事業者B	年20回ほどの様々な研修を用意しています。身につけたい分野の研修は自主的に受けてもらいます。施設長としては、職員が研修を受ける時間の確保も役割だと思っています。他にも、交換研修といって、他施設に2週間ほど行ってもらい、新しい

委員長	<p>考え方を身に付けてもらいます。面談については、年2回、施設長とその期間を振り返る面談の機会を設けています。</p> <p>時間になりましたので、ヒアリングを終了します。ありがとうございました。</p>
委員長	<p>3 第二次審査採点及び指定管理者候補者の選定について ・採点表及び集計</p> <p>各委員会の皆様から講評をお願いします。</p>
C委員	<p>事業者Aは、大型児童センターの実績が豊富であり、実績を踏まえた安定感のある提案がされていて高く評価しました。</p> <p>事業者Bは、本部の現場へのサポート体制がしっかりしている印象を持ちました。</p>
B委員	<p>事業者Aは、プレゼンテーションでは、乳幼児親子への支援について詳細に触れられていて良かったです。また、現状の課題への対応を具体的に話されていました。</p> <p>事業者Bは、中高生への支援について、中高生にとって施設がどのような存在になってほしいか具体的イメージが持っている点を評価しました。ただ、大型児童センターを運営するというイメージが持っていないのかなと感じるところがありました。</p>
D委員	<p>事業者Aは、港南地域の特性、施設の設置目的を理解しながら、地域との関係性を構築しようとしている点を評価しました。</p> <p>事業者Bは、大型児童センターの運営実績が少ない点は不安ですが、それを支える本部や職員のサポート体制がしっかりしていて、チーム力があり、将来性を感じました。</p>
E委員	<p>事業者Aは、大型児童センターの実績が豊富であり、安定感がありました。施設長候補者は、大規模施設の長として、全体を見たマネジメントができることが期待でき、高く評価しました。</p> <p>事業者Bは、施設長候補者、副施設長候補者ともに自分の役割や強みを理解していて期待が持てました。しかし、大型児童センターの実績が少ないことが若干不安に感じました。</p>
委員長	<p>事業者Aは、施設長候補者が長としての知識が豊富であり、質問に対して、明確に回答されていて期待が持てました。</p> <p>事業者Bは、副施設長候補者の施設長候補者へのフォローが、自分の強みや経験を生かしたものとなっており、評価しました。このような大規模施設では、副施設長の役割が大切だと感じます。</p>
委員長	<p>点数を確認します。第二次審査は、合計500満点中、事業者Aが398点、事業者Bが361点です。第一次審査の得点が、事業者Aが759点、事業者Bが75</p>

全委員	<p>2点でしたので、総合得点は、事業者Aが1,157点、事業者Bが1,113点です。</p> <p>点数の変更はないようですので、点数を確定し、事業者Aを港区立港南子ども中高生プラザ指定管理者候補者として決定します。よろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>(了承)</p> <p>事業者Aを当委員会では指定管理者候補者として決定いたします。</p>
	<p>4 閉会</p>